

2020年5月25日

各位

会社名 アンジェス株式会社
代表者名 代表取締役社長 山田 英
(コード番号 4563 東証マザーズ)

**アンジェス、大阪大学が手掛ける新型コロナウイルス感染症(COVID-19)向け DNA ワクチン共同開発：
非臨床試験での抗体価上昇を確認**

2020年3月5日に発表した新型コロナウイルス向け DNA ワクチンの大阪大学との共同開発において、3月26日から行っている非臨床試験での動物へのワクチン投与で、抗体価上昇が確認できたことをご報告いたします。毒性試験結果を確認した上で、速やかな臨床試験への移行を進めてまいります。

【プラスミド DNA 製造技術を用いた新型コロナウイルス向け予防用 DNA ワクチンの開発および製造プロジェクト概要
-3月5日以降の配信リリースからの参考情報】

- 当社および大阪大学(臨床遺伝子治療学・健康発達医学)が有するプラスミド DNA 製品の開発実績を生かし、コロナウイルスの予防用 DNA ワクチンを共同開発
- 製造はプラスミド DNA の製造技術と製造設備を有するタカラバイオ株式会社が担当
- ダイセル社が、新規投与デバイスによる皮内への遺伝子導入法を開発
- 臨床開発を促進するため、医薬品開発支援機関として EPS ホールディングス株式会社が参画
- ペプチド研究所が、抗体価測定のためのペプチド合成研究を担当
- 新日本科学が、非臨床試験における DNA ワクチンの安全性の検証業務を中心に担当
- ワクチンの有効性等の評価指標となるバイオマーカーの探索でヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ社が参画
- スリー・ディー・マトリックス社と抗体検査キットの国内臨床利用可能性を検討
- AGC Biologics 社と Cytiva が製造を担当するタカラバイオ社の協力体制に参画

<DNA ワクチンとは>

DNA ワクチンは、危険な病原体を一切使用せず、安全かつ短期間で製造できる特徴があります。対象とする病原体のたんぱく質をコードする環状 DNA(プラスミド)を接種することで、病原体たんぱく質を体内で生産し、病原体に対する免疫を付与します。弱毒化ワクチンとは異なり、病原性を全く持たないため、安全です。

なお、今年度の通期連結業績に与える影響は現在精査中です。

以上

お問い合わせ先

アンジェス株式会社

社長室 広報・IR 担当

03-5730-2641